

会 議 録

会議の名称	平成30年度「忍川・酒巻導水路」川の国埼玉はつらつプロジェクト 第1回推進協議会
開催日時	平成30年7月17日(火) 開会：午後1時30分 閉会：午後2時20分
開催場所	行田市役所305会議室
出席者(委員) 氏名	自治会連合会：安原委員、橋本委員、河辺委員、高澤委員、羽鳥委員 地域活動団体：今村委員、小林委員、柿沼委員 埼玉県：藤井委員、有留委員、森委員、飯島委員、鈴木委員 行田市：樋口会長、岩田委員、蓮沼委員、前島委員、森原委員、 青山委員、田島委員、加藤委員、中島委員
欠席者(委員) 氏名	自治会連合会：江原委員 地域活動団体：湯澤委員、田口委員、時田委員 行田市：村田委員
事務局	企画政策課：川上主幹、洪澤主任、吉野主事
その他関係機関 出席者	埼玉県農村整備課：高辻技師 行田県土整備事務所：中村課長、落合主任 加須農林振興センター：松本課長、金澤主任
会議内容	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりの取組みについて ・「忍川」川のはつらつプロジェクト事業計画について ・「酒巻導水路」川のはつらつプロジェクト事業計画について ・その他
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・会議次第 ・資料1 まちづくりの取組み(抜粋)【行田市】 ・資料2-1～2-5 忍川 川のはつらつプロジェクト事業計画図 【行田県土整備事務所】 ・資料3-1～3-2 酒巻導水路 川のはつらつプロジェクト事業計画図 【加須農林振興センター】 ・参考資料1 川の国埼玉はつらつプロジェクト推進協議会設置要綱【行田市】 ・参考資料2 玉野用水分水堰遊歩道舗装イメージ図【加須農林振興センター】 ・参考資料3 川の国埼玉魅力100選写真募集【水辺再生課】
その他必要 事項	傍聴者 なし

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
司 会	1 開会 2 あいさつ 会長 3 出席者紹介 4 議事
司 会	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは、本日の議事に入る。 ・議事の進行については、推進協議会設置要綱の規定に基づき、樋口会長にお願いする。
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・本日の会議は原則公開となっている。 ・はじめに、議事の（１）「まちづくりの取組み」について事務局から説明をお願いします。
事 務 局	<p style="text-align: center;">＜資料１により説明＞</p>
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・ただいまの事務局の説明に対し、意見や質問はあるか。 <p style="text-align: center;">＜意見なし＞</p>
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・議事を進める。続いて、議事の（２）「忍川」川のはつらつプロジェクト事業計画について、行田県土整備事務所より説明をお願いします。
行田県土	<p style="text-align: center;">＜資料２－１～２－５により説明＞</p>
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・ただいまの事務局の説明に対し、意見や質問はあるか。
今村委員	<ul style="list-style-type: none"> ・資料２－３について、皿尾橋下流の空き地を整備していただいたところであるが、日陰がないため、散歩等をする人たちのために、東屋等の設置について市側をお願いしたい。
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・意見として承る。 ・次に、議事の（３）「酒巻導水路」川のはつらつプロジェクト事業計画について、加須農林振興センターから説明をお願いします。
加須農林	<p style="text-align: center;">＜資料３－１～３－２、参考資料２により説明＞</p>
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・ただいまの事務局の説明に対し、意見や質問はあるか。 <p style="text-align: center;">＜意見なし＞</p>

議 長	・ 議事を進める。続いて、議事の（４）「その他」について、埼玉県水辺再生課から説明をお願いします。
水辺再生	<参考資料３により説明>
議 長	・ 委員の皆さんから、全体を通して意見や質問があればお願いします。
今村委員	・ 資料２－４について、竹の花橋の上流右岸に親水護岸を整備するとのことだが、いわゆる堤防部分が狭い範囲となっているが、拡幅して整備する予定ということでしょうか。 ・ 資料２－５中、小菅新橋上流の国道１７号バイパス下の部分について、現計画では、遊歩道を地下道に迂回させるとのことだが、何とかしてバイパス下を通せないか。
行田県土	・ まず、資料２－４について、同資料中の「横断図」一番上が竹の花橋のすぐ上流の図となる。真ん中がその上流部分、一番下がさらにその上流の図となっている。横断図一番下の部分については、現況幅が８０ｃｍしかない非常に狭い幅員となっているが、現在法面２割の勾配となっているところを少し立て、幅員を２ｍ確保する予定である。親水護岸整備部分は、横断図真ん中の部分であり、舗装幅３ｍの部分において、それほど大きくない規模のもので考えている。一番上の図については、自然石張護岸として、斜めに整備する。 ・ 次に資料２－５について、遊歩道は図中緑線で示されているように、迂回させるルートで計画しているが、国道１７号バイパス橋梁下については、スペース的に非常に厳しい状況となっている。整備は難しいと思うが、何かできるか再度確認させていただきたい。
議 長	・ その他に何かあるか。
橋本委員	・ バイパス周辺について、菜の花が多く、かなりの速さで増殖しており、夏になると枯れた菜の花が一面に広がってしまっている。管理上、花が終わった後、種ができる前にできるだけ早く刈った方がよいのではないかと。また、小菅新橋の下流をハヤブサが飛んでいた。環境の良さを再認識したところである。
行田県土	・ 川の草刈については、行田県土整備事務所にて行っている。草刈は年２回行っており、現在１回目の草刈を終えた時期である。種ができる前に刈るのが一番効果的であるため、刈る順番を検討する等にて対応させていただきたい。
高澤委員	・ 旧忍川にて、今年の冬に放火があった。その後行田県土整備事務所にて草を刈ってもらい、今後河床部分まで刈り込みに入ると聞いていたが、実際は法

	<p>面部分と河床1列のみである。放火があった場所は人家が遠く被害はなかったが、さきたま古墳近くになると、人家に燃え移ることも考えられるため、もっと刈ってほしい。</p>
行田県土	<ul style="list-style-type: none"> ・できるだけ多い回数刈ればよいが、予算等の問題もあるため、工夫していきたい。
今村委員	<ul style="list-style-type: none"> ・市への要望であるが、川の再生プロジェクトにおいて、着々と整備を進められているものの、市民の認知度がそれほど高くないように思われる。費用をかけて整備をしているのに、市民が知らないというのは非常に損である。以前、上空からの動画を撮影して市のホームページ等で広報したように、ぜひ今後も整備状況がわかるような上空からの動画撮影や、訪れる方へのPRをお願いしたい。
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・広報担当に今後のPR方法の検討などについて伝える。 ・他にはよろしいか。それでは、事務局から連絡事項についてお伝えする。
事 務 局	<ul style="list-style-type: none"> ・次回会議開催日程について、今後工事が進んでいく中での報告事項等ができた段階で会議を開催する。その際には別途通知をする。ぜひ参加をお願いしたい。
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・皆様のお陰様をもって、昨年度計画のとおり今年度事業が進められている。感謝申し上げます。計画通り進めていく所存であるので、ご意見等があればまたお寄せいただきたい。他に何か連絡事項等あるか。
橋本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、行田さくらロータリークラブにて、桜を枯らす特定外来生物クビアカツヤカミキリの対策を市にお願いしており、市環境課を中心に対応していただいている。今年、行田北部でのクビアカツヤカミキリの発見が著しく、須加小では何十匹と捕獲された。羽生からスモモの木の被害が広がっている。暴風等が発生すると倒木の危険性があるため、北大通りや国道125号線以北で何とか食い止めたい。今回、酒巻導水路にて桜を植える予定だが、草刈の担当業者に情報を伝えるなど、忍川を守るために協力をお願いしたい。見沼土地改良区について、被害にあった木の伐採を依頼したところ、今年初めに全て伐採していただけた。しかし伐採には費用がかかるとのことなので、皆さんにもできる範囲で協力をぜひお願いしたい。
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・他にはよろしいか。それでは、これにて議事を終了する。長時間にわたり慎重に審議いただき、ありがとうございます。これをもって、議長の職を解かせていただき、事務局に進行をお返しする。

司 会

・今後、本プロジェクトの推進にあたっては、自治会連合会の皆様、地域活動団体の皆様、関係機関の皆様のご理解ご協力が不可欠となる。また、期間が限られた中でいろいろとお願いすることがあるかと思うが、今後ともよろしくお願ひする。以上をもって、川の国埼玉はつらつプロジェクト第1回推進協議会を閉会する。

<閉 会>